

県 政 協 議 会

令和5年11月21日(火)
午前10:30

1. 令和5年度12月補正予算(案)の概要について
2. タイ トップセールスについて
3. JR東日本「重点販売地域」の指定について
4. 農作物の被害状況等について
5. その他

令和5年度12月補正予算（案）の概要について

令和5年11月21日
（単位：千円）

一 予算規模

1 一般会計

補 正 額 348,584

補正後の規模 621,032,039

前年度12月補正後予算との対比 Δ 38,697,735
(5.9%減)

《補正予算の財源》

特定財源

39,794

国庫支出金

△68,356

県債

75,100

その他

33,050

一般財源

308,790

繰越金

308,790

2 特別会計

工業団地開発事業特別会計 220

国民健康保険特別会計 340

<債務負担行為>

能代港エネルギー基地建設用地整備事業特別会計 (15,000)

港湾整備事業特別会計 (96,961)

3 企業会計

電気事業会計 △930

工業用水道事業会計 △2,893

下水道事業会計 19,403

<債務負担行為>

下水道事業会計 (1,032,309)

二 補正予算(案)の主な内容

今回の補正予算(案)は、新秋田元気創造プランに基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上した。

I 新秋田元気創造プランに基づく事業等

- | | |
|---|------------|
| (1) ①秋田とつながる若年女性のネットワーク構築事業
若年女性の県内定着・回帰に向け、県外の若年女性との意見交換により、秋田に対するニーズ等を収集するとともに、秋田と首都圏のネットワークを形成する。 | 1, 1 2 1 |
| (2) ①児童会館安全安心確保事業
秋田県児童会館における新型コロナウイルス感染症対策や、利用者の暑さ・寒さ対策のために必要となる備品等を整備する。 | 1, 4 1 0 |
| (3) 情報基盤システム再構築事業
業務の効率化を図るため、情報共有をサポートするコラボレーションツールの導入に伴う通信負荷を分散する装置の整備や、行政情報ネットワークの無線化に向けた基本設計を行う。 | 4 2, 3 5 1 |

- (4) デジタルガバメント総合推進事業 31,202
 テレワークを始めとした多様な働き方を推進するため、モバイルワーク用のパソコン及びルータを整備する。
- (5) ツキノワグマ被害防止総合対策事業 24,705
- ①人里への出没対策強化事業 1,959 千円
 地域の安全安心を確保するため、麻酔銃を追加購入し北秋田及び仙北地域振興局に1丁ずつ配置する。
- ②~~新~~ツキノワグマ捕獲緊急対策事業 22,746 千円
 ツキノワグマ被害の拡大に伴い、有害捕獲等による負担が大きくなっている秋田県猟友会を支援する。
- ・補助先 秋田県猟友会
 - ・補助率 10/10 (県 10/10)
 - ・補助単価 ①捕獲者慰労金 1頭当たり 7,000 円
 ②猟友会慰労金 3,750 千円 (定額)

<債務負担行為>

○情報基盤システム再構築事業 (101,689)

次期一人1台パソコンのセキュリティを保ちつつ、持ち運びの利便性を向上するため、顔認証システムを導入する。

・設定期間 令和6年度

○デジタルガバメント総合推進事業 (24,170)

令和6年度からの本格実施に向け、職員のテレワークに必要なライセンスを整備する。

・設定期間 令和6年度

○若者の県内定着・回帰総合支援事業 (8,871)

①県内企業インターンシップ等紹介事業 (4,215千円)

県内企業の概要やインターンシップ等のプログラムを紹介するオンラインセミナーを開催する。

・設定期間 令和6年度

②先輩社員によるあきた就活応援交流会事業 (4,656千円)

県内企業に就職した先輩社員の生の声を聞き、秋田で働き暮らすことを考える機会を県内外の大学生等に提供する。

・設定期間 令和6年度

- 環境放射能測定事業 (47,520)
空間放射線量を測定するため5地域振興局に設置したモニタリングポストを更新する。
・設定期間 令和6年度
- 高等学校学習環境等整備事業 (84,459)
県立学校等のインターネット接続を高速化し、教育の質を高めるため、必要な機器の調達及び構築等を図る。
・設定期間 令和6～9年度
- あきたMuseum機能強化事業 (35,000)
県民に多彩で良質な芸術鑑賞の機会を提供するため、県立美術館、近代美術館、博物館及び農業科学館において特別展を開催する。
・開催内容 ジブリ展、金魚絵師 深堀隆介展、世界の昆虫展 等
・設定期間 令和6年度

II 公共事業

<債務負担行為>

○国庫補助事業

(2,641,000)

- ・地方道路交付金事業（補修） 757,000 千円
- ・空港整備事業 489,000 千円
- ・秋田港アクセス道路整備事業 470,000 千円
- ・雪寒建設機械整備事業 440,000 千円
- ・地方道路交付金事業（雪寒） 315,000 千円
- ・地方道路交付金事業（改築） 170,000 千円

○県単独事業

(1,297,280)

- ・県単道路補修事業 1,034,000 千円
- ・県単河川等環境維持修繕事業 114,280 千円
- ・県単砂防事業 75,000 千円
- ・県単河川改良事業 58,000 千円
- ・県単道路維持修繕事業 16,000 千円

○災害復旧事業

(585,200)

- ・現年発生土木災害復旧事業 400,000 千円
- ・漁港災害復旧事業 100,000 千円
- ・港湾災害復旧事業 50,000 千円
- ・漁港災害関連事業 30,000 千円
- ・県単漁港維持改良事業 5,200 千円

Ⅲ 人 件 費

△ 1 1 1, 2 7 4

人事委員会勧告及び実績見込みに基づき、給与費を補正する。

- ・ 人事委員会勧告分 1, 715 百万円
- ・ 実績見込み分 △1, 826 百万円

Ⅳ そ の 他

(1) 災害援護資金貸付金

1 1 2, 7 0 0

住家の全壊、半壊及び家財の1/3以上の被害があった被災者へ資金貸与を行う市町村に対し、その原資を貸し付ける。

融 資 枠	11, 270 万円	償還期間	10年 (据置 3 年含む)
貸付限度額	350 万円		
負担割合	国2/3 県1/3		
使 途	生活再建費用		
融資利率	年3.0%以内で市町村条例で定める率 (据置期間中は無利子)		

<債務負担行為>

○県税クラウド帳票外部委託事業 (32,000)

令和7年1月から運用開始の県税クラウドサービスで使用する納税通知書等の作成・発送を外部委託する。

・設定期間 令和6年度

○広報事業 (118,358)

広報紙やテレビ等により、県政及び県議会の情報を提供する。

①県広報

・事業費 72,780 千円

・設定期間 令和6年度

②議会広報

・事業費 45,578 千円

・設定期間 令和6年度

タイ トップセールスについて

令和5年11月21日
観光文化スポーツ部
農 林 水 産 部

11月8日から11日にかけて、知事をはじめ県内7市町や観光・経済団体、民間事業者等の関係者計42名がタイを訪問し、本県への誘客促進や秋田牛の認知度向上・販路開拓による輸出拡大に向けPRを行った。

1 タイからの誘客促進について

タイについては、コロナ禍後順調に訪日観光客が回復しており、この機会を捉え、本県への更なる誘客を図るため、現地旅行会社や航空会社を対象としたセミナーを開催し、旅行商品の造成・販売を要請したほか、現地メディア等を通じ本県のPRを行った。

今後は、セミナーに参加した旅行会社への積極的な情報発信やセールスなど、誘客拡大に向けた取組を強化する。



観光誘客セミナー

2 秋田牛の輸出拡大について

秋田牛の認知度向上と販路開拓に向け、タイパラリンピック委員会会長に「秋田牛アンバサダー」への就任と秋田牛のPRへの協力をお願いしたほか、秋田牛の試食会を開催しPRを行った。

今回の訪問を契機に、現地の卸会社や販売店との連携強化を図りながら、秋田牛の更なる輸出拡大に取り組んでいく。



秋田牛プロモーション

J R東日本「重点販売地域」の指定について

令和5年11月21日
観光文化スポーツ部

1 概要

令和6年度冬季（令和6年12月～令和7年2月）のJ R東日本「重点販売地域」に秋田県が指定されることが決定した。本県単独での指定は平成30年秋以来の6年ぶりであり、冬季の指定は初となる。

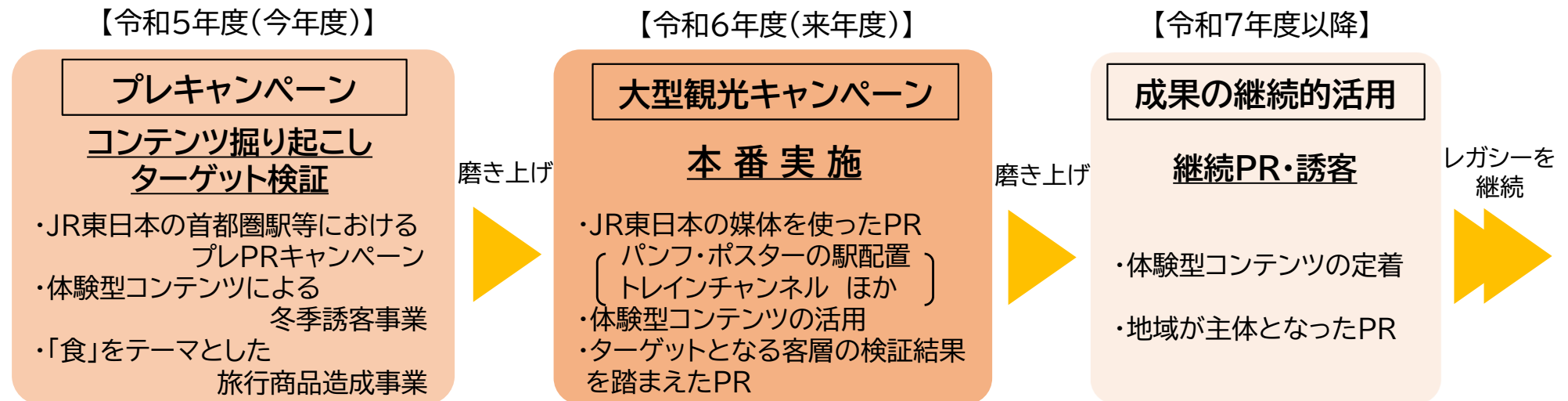
2 ねらい

重点販売地域の指定を受け、首都圏をはじめとするJ R東日本管内において「大型観光キャンペーン」を実施し冬季誘客を推進することで、季節による繁閑差の解消を通じた本県観光産業の持続的な成長を促していく。

※重点販売地域

J R東日本が宣伝等を強化する地域のこと、自治体がエントリーを行い、J R東日本の指定を受けて3か月単位で実施されるもの

3 目指す姿



2か年を通じ秋田の冬のコンテンツを磨き上げ、冬季の誘客力の強化を図る

【 参考 】

(1) 実施イメージ



オープニングセレモニー



J R 東日本主要駅へのポスター掲出



パンフレット作成

新幹線車内誌での
特集記事

(2) これまでの J R 東日本との連携（重点販売地域、デスティネーションキャンペーン（DC））

年度	キャンペーン名称	実施期間	実施主体	区分
R4	北東北三県大型観光キャンペーン ～ドキドキ、キタキタ 北東北～	R4.7～9	北東北3県 (秋田県、青森県、岩手県)	重点販売地域
R3	東北デスティネーションキャンペーン ～巡るたび、出会う旅。東北～	R3.4～9	東北6県、東北観光推進機構	DC (JR6社キャンペーン)
H30	秋田県秋の大型観光キャンペーン ～秋のさく、さく、あきた～	H30.9～11	秋田県	重点販売地域
H29	秋田県春の大型観光キャンペーン ～さく、さく、あきた～	H29.4～6	秋田県	重点販売地域

農作物の被害状況等について

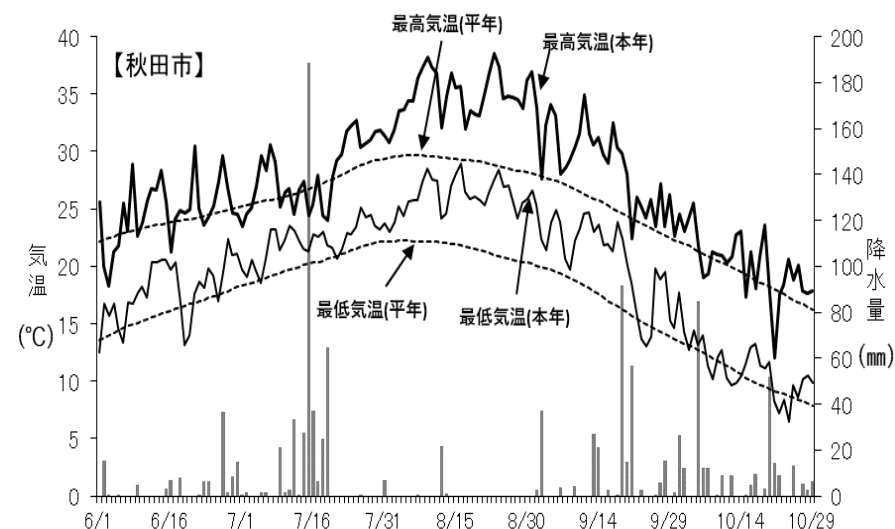
令和5年11月21日

農 林 水 産 部

1 農作物の状況

(1) 気象経過

- 気温は、6月上旬から7月中旬にかけて、平年よりも高めに推移したほか、7月下旬～9月中旬にかけて、記録的な高温となり、多くの観測点で月平均気温がこれまでで最も高くなった。
- 降水量は、7月中旬に記録的な大雨となったものの、8月は好天が続き平年を大きく下回った。
- 日照時間は、7月下旬～9月上旬にかけて、平年を上回った。



(2) 農作物への影響

ア 水稲

出穂期以降の高温により、玄米の充実度不足や白濁などの品質低下が見られ、9月30日現在の水稲うるち玄米の1等米比率が62.6%と昨年の同時期と比較して30ポイント低くなったほか、作況指数は97の「やや不良」となっている。

イ 大豆

開花期以降の高温や少雨の影響により、莢^{さや}の数が少なく粒が小さい傾向となっているほか、しわ粒や腐敗粒、奇形粒の発生も多く、収量及び品質の低下が見られる。

ウ 野菜

8月の高温の影響により、えだまめで莢^{さや}の数が少なくなったほか、ねぎで肥大不足が発生するなど、各品目で出荷量が減少した。(10月末現在の前年比：出荷量89%、単価111%)

エ 花き

7月中旬以降の高温や少雨の影響により、全体的に生育が遅れたほか、ダリアで品質低下や株の枯死、りんどうで日焼け花が発生するなど、各品目で出荷量が減少した。(10月末現在の前年比：出荷量88%、単価101%)

オ 果樹

8月の高温や少雨の影響により、全体的に収穫期が早まったほか、りんごの^{わせ}早生種及び^{なかて}中生種を中心に着色不良や日焼け果が発生するなど、一部品目で出荷量が減少した一方で、糖度が高く、食味の良い果実が出荷された。(10月末現在の前年比：出荷量74%、単価143%)

カ 畜産

比内地鶏や肉用牛などの家畜において、暑熱に起因する死亡が発生した。

(3) 今後の対応

- 本年の生育経過等を解析するとともに、高温に対応した水管理や土づくりなどの技術対策について、講習会等を通じて徹底を図る。
- 7月の大雨被災者向け「農業・漁業経営フォローアップ資金」(無利子融資)の対象者を拡充し、高温や少雨の影響による品質低下や収量減少が著しい農家の資金繰りを支援する。

2 大雨被害の復旧状況

(1) 復旧状況

ア 農作物等

追加防除に要した薬剤費や来年の種苗購入費、機械の修繕費等に対して助成する「農業経営等復旧・継続支援対策事業」については、18市町村で申請見込みとなっており、順次補助金交付手続きを進めていく。

イ 農地・農業用施設

国の災害復旧事業については、12月中旬までに約370件の災害査定を予定しており、査定後、順次工事発注手続きを進めるほか、県単の小災害支援事業についても、来春の作付けに間に合うよう事務手続きを進める。

ウ 林地・林道施設

国の災害復旧事業については、10月下旬までに56件の災害査定が完了し、工事発注に向けて準備を進めており、その他の箇所については、県単事業又は次年度の国庫事業で復旧することとしている。

(2) 今後の対応

- 引き続き、市町村等と連携して早期復旧に努めるほか、営農や経営相談に関しては、各地域振興局の「農業経営・就農支援センター地域サテライト窓口」が中心となり、きめ細かくサポートしていく。